

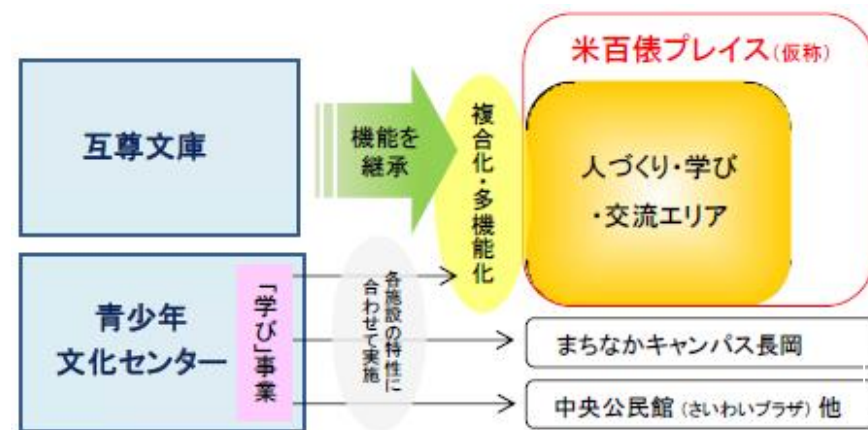
最近の施設整備の考え方について

平成 29 年 3 月策定 長岡市公共施設等総合管理計画

公共施設等に関する基本的な考え方（公共建築物） ※抜粋

1. 「機能（ソフト）」と「建物（ハード）」を区別し、施設の新しいあり方を検討します。
機能の複合化・集約化により、維持更新費用の縮減と市民の利便性の向上を図ります。
2. 身の丈にあった「施設の量の適正化と適正配置」
人口動向や市民のニーズの変化を踏まえ、公共建築物の量の適正化と適正配置に努めます。また、新たな施設整備が必要な場合には、既存施設の活用の可能性を探るとともに、既存施設を統廃合するなど、施設総量の抑制・削減を図るとともに、長岡市立地適正化計画が目指すまちづくりの実現に向けて、市有財産を活用し、拠点となる地区への機能集積を進めます。

米百俵プレイス（仮称）



【出典】平成30年 2 月19日議員協議会資料

再開発事業に伴い行政機能の見直しを検討している公共施設の一例

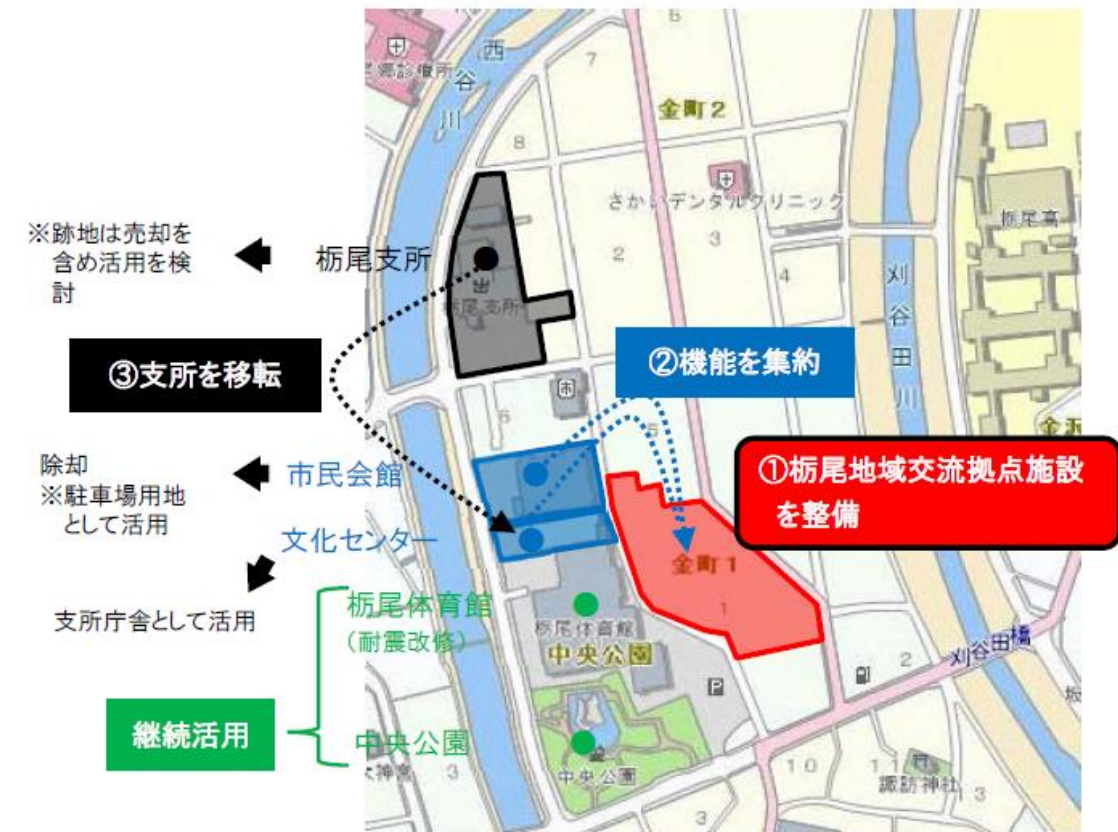


【出典】令和元年 8 月22日議員協議会資料

栃尾地域交流拠点施設（仮称）

(図 3-2) 公共施設再編の構図

図中の①～③は再編の手順を示す。



【出典】平成30年 3 月策定 栃尾地域交流拠点等整備基本構想